

# 「これからの図書館を考える市民ワークショップ」 実施報告

## 開催目的

今後の図書館サービスや運営手法、分館のあり方や図書館利用の活性化などについて、市民の皆さんのご意見を伺い、ともに考え、長く愛し続けてもらえる図書館を目指す。

今年度4回目のワークショップでは、「舞鶴市をおおう図書館サービス網と東地区の分館の活用方法について」をテーマに実施。市が目指す本市の図書館サービス網や東地区の分館のイメージやコンセプトについて提案し、市民の思いや実現に向けたアイデア等について意見を聞くことを目的とする。

## 開催概要

回	日 程	テ ー マ	参加 人数
4	令和 7 年 2 月 22 日(土) 14:00~16:00 商工観光センター展示交流室	舞鶴市をおおう図書館サービス網と東地区の分館の活用方法について	36 名

○対 象 者:舞鶴市内在住・在勤・在学者

○募集定員:30 名程度

○周知方法:広報まいづる、HP 掲載、記者発表、チラシ、市内にある高校等訪問し 直接呼びかけ、子育て支援サービス「まいココ」掲載

○申込方法:申込フォーム、電話(図書館課、東・西図書館)、図書館窓口

## 内容と参加者意見

### ■第4回ワークショップ

#### 《内容》

- ・ファシリテーター:福知山公立大学 谷口知弘先生
  - ・講師:京都橘大学 嶋田学先生(元瀬戸内市民図書館館長)
  - ・アドバイザー:常世田 良先生(舞鶴市図書館アドバイザー)
- 
- ・1班3~4名の10班体制。
  - ・市が目指す本市の図書館サービス網や東地区の分館のイメージやコンセプトについて提案・説明後、京都橘大学の嶋田学教授に自身の経験を踏まえた他市事例をご講演いただく。
  - ・市の目指すものについて「いいねと思ったこと」や「分館で〇〇をしたい」ということについて、各班で意見を出し合い、付箋に書き出す。

## 《主な意見》

### ○舞鶴市をおおう図書館サービス網の充実

- 気づきの共有～いいな、大切だなと感じたこと～
  - ・移動図書館のように全域にサービスが行き届くといいな！
  - ・一人が読んだ本、調べたことがまた次のだれかのものになる！

### ○東地区の分館の活用方法

- 気づきの共有～いいな、大切だなと感じたこと～
  - ・地域の学校の生徒による発表の場を設ける
  - ・図書館は本を読める場所、本を借りる場所というのにとらわれず、いろいろな取り組みをされていていいなと思った。

### ○東地区の分館と「私」や「私たち」の未来を話し合う井戸端会議 ～大切にしたいことや実現したいことを共有しよう～

- 大切にしたいこと
  - ・誰かの知識、経験を共有できる場(ヒューマンライブラリー)
  - ・市民の知識、教養、情報交流の場
  - ・従前の図書館(本の貸出、司書によるアドバイス)機能・固定観を  
超え、限界を作らず前進してほしい。
  - ・多くの図書館は「幼児、小学生向け」と「大人向け」に分類されて  
しまっているから、中高生向けのコーナー(交流イベントなども含  
める)などを作ってほしい。こういったものは、綾部も福知山もな  
い。
  - ・図書館から近い人も遠い人も舞鶴市どこに住んでいる人も使える。
  - ・みんなで話し合う場所がほしい。
  - ・学習スペースと公民館の部屋を使ったり、イベントを連携したり…  
できることが増える。
- 図書館で○○を実現する、図書館で○○がしたい
  - ・ゆったりゆっくり過ごす居場所であってほしい。
  - ・他校の人や他学年の人たちと勉強会などで交流したい。
  - ・同じ目標を持つ人たちが集まって勉強をしたり交流したりできる。
  - ・生徒(高校生、高専生なども)学校帰りに勉強できる場、スペース  
を確保すること(分館で)
  - ・K-POP など、最近の若者が興味あるものが多く載っている雑誌など  
ももっともって置いてほしい。若い利用者が増えると思う。
  - ・高齢者と子どもが交流できるような楽しい企画をしてみたい。
  - ・子ども(幼児対象・乳児対象)の本の楽しさを共有したい。絵本の  
面白さを親が知れる、集まらなくても、メモでも。
  - ・本を読む、本に出会える、読書の良さを学び体験できる。本来の図  
書館の役割。

《WSの様子》



▲ファシリテータは、福知山公立大学の谷口先生  
嶋田先生にはオンラインで参加いただきました。



▲班ごとに意見交換